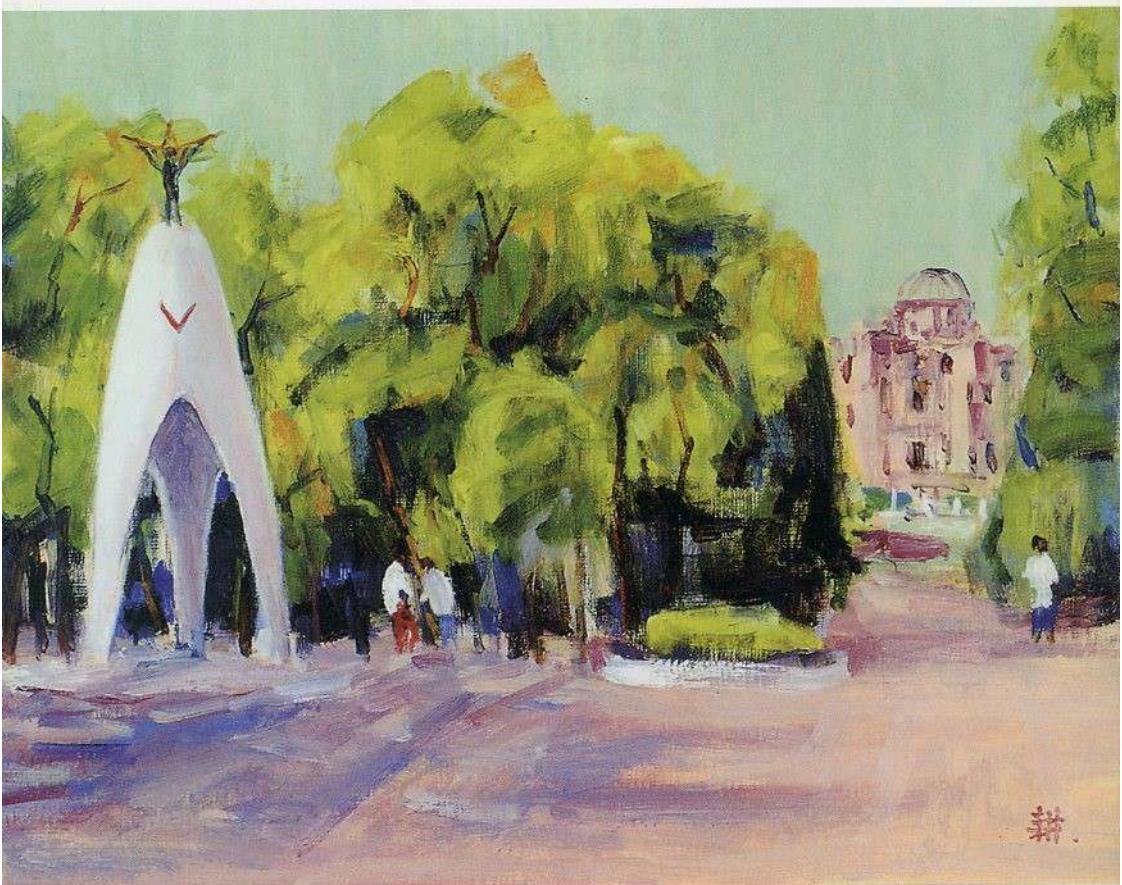


ヒロシマ

HIROSHIMA



耕.

2010(上)

ペン
HIROSHIMA
2010(上)

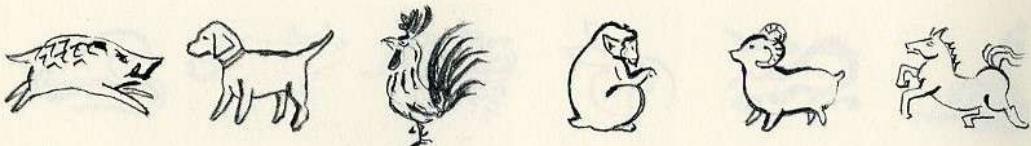


広島ペンクラブ

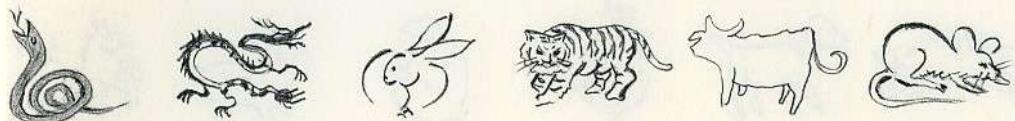
『 目 次 』



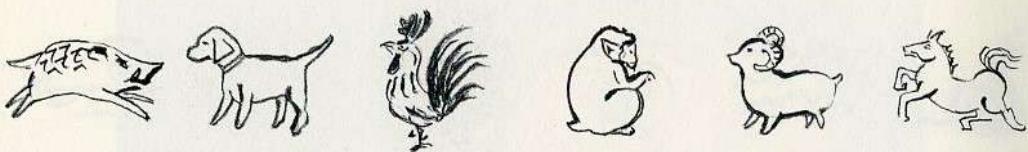
大木	茂	遺稿	三滝山景物抄	1
舛井	寛一		風雅の人士	2
落合	恵子		崖っぷちに立つあなたへ	3
60周年記念行事	佐藤伊佐雄	「頭脳」と「手足」の関係		6
吉村	平塙	清種	今を生きる	8
良哉	吉村	良哉	年金酒場	9
哲	小畠	哲	思い出（その三）	10
義之	松本	義之	時事囁語	11
山根	山根	山根	興哉	12
板倉	昭子	昭子	歩みきし道（一）	13
有田	寒葵	寒葵		14
森田	博司	博司	おかげさま	15
大下	繁昌	繁昌	犬の散歩	16
袁	徳也	徳也	他人様の資金で日の目をみた原稿	17
北川	葉	葉	舞台を支える人びと	18
東	建次	建次	存在は意識を規定する	19
川村	毅	毅	最近気になること	20
大谷	和義	和義	船	21
育平	裕平	裕平	嫁いじり	22
新田	和雄	和雄	世界政治遺産「ワールド・ポリティカル・ヘリテイジ」	23
望月	公正	公正	鰐の白子	24
迫田	勝明	勝明	薬師寺	



山本 光珠	古 井	25
富沢 佐一	地名の魅力	26
世木田寛子	憂い	27
亀井 一夫	窯焚記と減量記	28
新本 稔	一枚キップ	29
児玉 光楨	中華思想について	30
小笠 邦久	天草の旅(その二)	31
福田 目黒	無駄な努力	32
高橋 英一	「旧字」の薰り	33
谷本 直隆	今日、このごろ	34
中島 嶋	自然環境の推移	35
三上寿磨子	晋作の萩脱出(1)	36
片柳 寛	パン誌でよみがえる人々	37
廣田 廣田	仰げば尊し	38
吉中 康麿	言葉は通じなくとも	39
井上 哲一	ブラックタイの思い出	40
阿部 律子	ブランクタイの思い出	41
亀井 章	景観は宝 鞄・ドーム	42
赤松 和彦	なつかしい時計たち	43
熊田 幸子	姫島の盆	44
高橋 昭三	景観は宝 鞄・ドーム	45
松村 誠	なつかしい時計たち	46
稻田 公子	姫島の盆	47
	花よりはかなきは	48



石井 康隆	無血開城	49
小野 文孝	しぐれの記	
渡辺 玲子	文壇落穂拾い・昭和三十年代	
永田 稔衛	自選回想歌（その二）一九九七・八年より	
務中 昌己	得意顔と性格	
千葉 佳子	昭和は遠くなりにけり	
花井 隆爾	天皇が元日に食される御菴葩	
佐藤 蘭花	近ごろ思うこと	
寺尾 邦昭	説明	
難波 紘二	飯島先生（その五）	
江川 政昭	戦後六十四年目の夏に思う	
保手濱神龍	関宿を行く	
横山 邦治	大連流連足掛け十年（三）	
上田由美子	風の音	
小杉 薦雄	賀寿の境涯	
高橋 昭博	平和祈念式典全国中継に出演して	
正木 嗣鵬	中国渡来人の書（8）黄檗の書、ところで	
吉村 馬洗	遺稿 積善余慶	
中下 毬子	文字摺草	
土屋 孝子	彼岸花	
久保田 秀男	今日とあした	
大島 邦夫	広島に写真美術館を—その後	
梶川 咸子	生活習慣病	
豊嶋 瞳	津和野に遊ぶ	



垣内 稔 ペンクラブ「今昔談義」の一 片（その二話）

川堀 耕平 エフエソス

土井田 泰 記録メディアの寿命

今田 笠舟 知覧の桜

原 時彦 帰 広

上田みどり メガネザルの存在

木村 進匡 鉛筆・万年筆・ボールペン

長谷川是求 文科系と理科系

田中 康夫 旅ゆけば：（11）おはん探しに錦帶橋

夏目 康文 今日は何の日？

足立 柳子 困 惑

新川 貞之 美術館開館のよろこび

天瀬 裕康 ヒロシマ演劇二〇〇九年、春～秋

碓井 静照 日本古代史を思う（22）

久村 敬夫 映画館今昔

由田千鶴子 マトリヨー・シカ

箕 義之 花の散る里

今泉ただし その男、晋作

広島ベンクラブ規約

編集人記

次号原稿の案内

表紙の言葉

■表紙題字／大木 茂 ■表三／村中淑子 ■目次カット／川堀耕平